

# 古文化

受け継がれる、日本屋根の伝統美。

第130号



大崎八幡宮  
[宮城県仙台市]



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

仙臺総鎮守  
おおさきはちまんぐう  
大崎八幡宮

[宮城県仙台市青葉区八幡]

由緒

平安の昔、東夷征伐に際して坂上田村麻呂は、武運長久を祈念すべく守護神である宇佐八幡宮を現在の岩手県奥州市(水沢)に勧請、大崎八幡宮の前身となる鎮守府八幡宮を創祀しました。

その後、室町期に大崎家兼が、現大崎市田尻に遷祀し十三代に亘り尊崇、世に「大崎八幡神社」と呼ばれました。

江戸期に入り伊達政宗公は、開府に伴い仙台城の乾(北西)の方角にあたる現在の地を神域と定め、慶長12年(1607)、伊達家代々の冥加のため、大崎氏が尊崇した八幡神社と旧領羽前国米沢の成島八幡宮とを併せ祀り、仙台藩総鎮守として現在の御社殿を造営されました。

御社殿造営にあたっては、当時豊臣家に仕えていた当代一流の工匠が京、大阪、和歌山などから招聘され、その手に成った御社殿は豪壮にして華麗な桃山建築の特色が遺憾なく発揮されたもので、藩政時代を通じ歴代藩主の篤い尊崇を受け、仙台藩六十二万石の総鎮守として伊達家の威風と桃山美術の絢爛たる息吹とを今に伝えております。

御社殿(国宝)

御社殿の内外にはふんだんに極彩色で彩られた彫刻が施され、随所にきらびやかな飾り金具が取り付けられた黒漆塗が絢爛豪華さの中に落ち着いた風格を現し、全体的に美しい調和をなしています。また、拝殿内部には、狩野派の絵師 佐久間左京の筆に成る唐獅子の障壁画や大虹梁の青龍、石の間の格天井には数十種の草木が描かれ、豪華な桃山時代の気風を感じることができます。



長押上に施された鮮やかな胡粉極彩色の組物(斗拱)や彫刻物



正面に大きな千鳥破風、向拝には軒唐破風、屋根は柿葺の拝殿

内部の彩色は創建当初がそのまま残され、後の日光東照宮につながる形式(本殿と拝殿とを相の間で繋いだ石の間造り)である「権現造り」の現存最古の建造物として、桃山様式を代表する大変貴重な存在であり、昭和27年には「国宝」に指定されました。



本殿(写真左側)、石の間、拝殿(写真右側)が一体となっている内部の様子

【建造物的視点から】

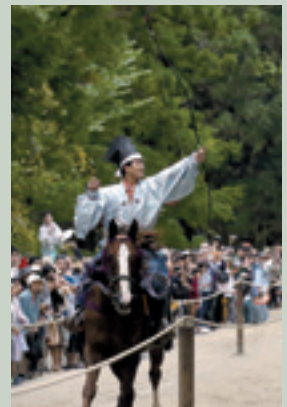
他の権現造りとの相違点に、本殿と拝殿の配置がとても近く、拝殿の背面側の軒は外部が石の間の軒と連続しており、石の間内部には拝殿の軒が内部に取り込まれているにあります。

本殿と拝殿の軒がこのような接近する権現造りの例は今のところ見られず、大崎八幡宮がその姿を模したといわれる豊国社の指図や同時期建立の権現造りと比べても類がありません。「神社建築」と「廟建築」の違いの一つとされています。

祭事(例大祭、松焚祭)

毎年9月には15日を中心に例祭が行われ、藩政時代より続く流鏝馬神事や宮城県指定無形民俗文化財の能神楽、仙台城築造に携わった石工たちが舞った雀踊り、そして総勢五百名を超す神幸祭(神輿渡御)などが盛大に斎行されます。

また、1月14日には正月送りの行事として全国的にも有名な、正月飾りを焼納する松焚祭(どんと祭)／仙台市無形民俗文化財が行われ、二千人を超す裸参りの参拝や、一晚で十万人を超す参拝者が訪れ、終夜境内を賑わします。



境内馬場で行われる流鏝馬神事

## 全国社寺等屋根工事技術保存会 名誉会長への就任にあたって



この度は皆様方の御推挙により、歴史ある公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の名誉会長に就任させていただくことになりましたこと、誠に光栄に思いますと同時に、その立場の重さも強く感じております。特に先代の名誉会長が建築史研究や文化財保存に大きな功績を残された鈴木嘉吉大先生であったことを思えば、身も震えるような緊張を覚えます。

世界無形文化遺産「伝統建築工匠の技」を構成する17の選定保存技術は、どれにおいても日本の伝統建築を後世に継承するためには欠くことのできない重要な伝統技術ですが、なかでも檜皮葺・こけら葺・茅葺の技術は日本の風土に適合した自然に優しい技術であると認識しています。それらの技術の保存・継承を担う当会の活動の一端に関与させていただくことになり、大変、有り難く感謝しています。

私の通っていた大学の建築学科では、3年次の終わりに建築設計や建築計画、構造、材料、施工など様々な分野から一つを選択してゼミを決めることになっていました。どの分野に進もうかと考えていたときに、京都に旅行して京都御所の横を通ったときに、何かの工事をしていたので、宮内庁の担当者に依頼して工事現場の見学をさせて貰いました。足場になると、巨大な檜皮葺屋根の葺き替え工事の最中で、その迫力と美しさに圧倒されました。その経験から、自分もこのような仕事に関わりたいと考え、ゼミでは建築史の研究室を選び、大学院では京都御所の研究に携わりました。その後、文化庁建造物課(当時)に職を得て以来、50年近くに亘り文化財保存の世界に身を置いてきました。私の人生を決定づけたのが檜皮葺との出会いだったことは、今にして思えば運命の巡り合わせと感じています。

文化庁に入庁して間もなく、桂離宮御殿群の修理工事が始まるとのことで、文化庁から宮内庁に出向を命じられて、修理工事の現場管理を行いました。この工事でも、連続する御殿群のこけら葺工事は重要な工事の一つでした。古書院・中書院・楽器の間・新御殿と複雑に連続するこけら葺の屋根は、<sup>むく</sup>起りのある入母屋造であるために葺き師の皆さんが苦勞していたことを記憶しています。しかし、その困難な仕事を見事に成し遂げて、美しい屋根が出来上がったときには、伝統技術の確かさと熟練した専門家の技能に感嘆し、敬服しました。

こうした経験を経て今日に至っていますが、檜皮葺・こけら葺・茅葺に関する技術の知識はほとんどありません。今後は皆様のご指導を受けながら、与えられた役職に精進して参りたいと考えていますので、どうぞ、宜しく願いいたします。

令和5年7月吉日

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

名誉会長 齋藤 英俊

# 令和5年度 第14回定時会員総会の開催 事業報告など

令和5年度の定時会員総会を5月17日(水)に京都市文化財建造物保存技術研修センターにて行いました。44期事業報告、収支決算などについて慎重に審議され、原案通り議決、承認されました。

## 令和4年度 事業報告

### ①文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

#### 第24期生 後期の研修開始

人数●3名  
期間●令和4年5月9日(月)～9月22日(木)  
研修区分●実習 696時間  
講義場所●京都研修センター(京都市東山区)  
実習場所●滋賀方面等

### ②檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

#### 1) 中級研修生(原皮師)研修開始

人数●11名  
期間●令和4年8月22日(月)～令和5年2月3日(金)  
研修区分●実習 1224時間(内査定会16時間)  
歩道整備 40時間  
実習場所●国有林/[中部森林管理局管内]  
賤母(長野)  
[近畿中国森林管理局管内]  
仏通寺(広島)、城山(山口)、  
西通山(兵庫)  
市有林/[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)  
民有林/岡山個人林(岡山)、羽賀寺(福井)

#### 2) 採取全体会議

参加者●15名  
期日●令和4年6月10日(金)  
会場●京都研修センター(京都市東山区)

#### 3) 森林管理署等の挨拶・打合せ

①挨拶場所●中部森林管理局管内(南木曾支署)  
人数●3名(執行理事1名、担当理事1名、事務局1名)  
期日●令和4年6月6日(月)

#### ②挨拶場所●近畿中国森林管理局管内

人数●3名(執行理事1名、担当理事1名、事務局1名)  
期日●令和4年6月7日(火)

#### ③挨拶場所●秩父市役所

人数●2名(執行理事1名、担当理事1名)  
期日●令和4年7月5日(火)

#### 4) 檜山の調査

人数●11名  
期間●令和4年7月5日(火)～8月5日(金)  
調査場所●国有林/[中部森林管理局管内]  
[近畿中国森林管理局管内]  
市有林/[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)  
民有林/岡山個人林(岡山)、羽賀寺(福井)

#### 5) 研修生(原皮師)採取技術査定会

参加者●15名  
期日●令和4年10月13日(木)、14日(金)  
場所●仏通寺国有林(広島)

#### 6) 檜皮・柿部会

参加者●19名  
期日●令和4年12月1日(木)  
会場●京都研修センター(京都市東山区)

#### 7) 第2回指導者、準会員合同研修会

参加者●42名  
期日●令和5年2月13日(月)、14日(火)  
場所●岩国国際観光ホテル 会議室(山口県岩国市)、城山国有林(山口県岩国市)  
内容●講義/「森林・林業・木材産業の動向」  
山口森林管理事務所  
総括森林整備官 掛部 晋 様

「近畿中国森林管理局における檜皮採取試験」  
近畿中国森林管理局 森林整備部  
技術普及課 上野 康史 様  
実演／城山国有林内における檜皮採取  
見学

講師／重要文化財 千葉家住宅主屋ほか  
6棟 設計監理事務所  
所長 鈴木 誠 様

### 3) 茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

#### 1) 茅葺師養成研修(中級)

人 数●4名  
期 間●令和4年7月～令和5年1月  
研修区分●実習120時間  
実習場所●山南研修センター(兵庫県三田市)

#### 2) 茅刈り研修

人 数●4名  
期 間●令和5年1月  
研修区分●実習40時間  
実習場所●大室山(静岡県伊東市)

#### 3) 第1回 茅部会

参加者●10名  
期 日●令和4年5月20日(金)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●「令和4年度茅事業について」等

#### 4) 第2回 茅部会

参加者●10名  
期 日●令和4年12月2日(金)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●「令和5年度茅事業について」等

#### 5) 茅収納庫入荷の茅調査視察

調査員●2名  
期 日●令和4年6月21日(火)、22日(水)  
調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

#### 6) 第1回指導者、準会員合同研修会

参加者●26名  
期 日●令和5年1月30日(月)、31日(火)  
場 所●ホテル千秋閣 会議室(岩手県花巻市)  
重要文化財 千葉家住宅主屋ほか6棟修  
理工事現場(岩手県遠野市)  
綾織地区センター(岩手県遠野市)  
講義内容●「東北地方の茅葺きについて」  
講師／有限会社 熊谷産業 熊谷 秋雄  
「重要文化財 千葉家住宅主屋ほか6棟修  
理工事現場」

### 4) 屋根板製作者養成研修事業 (国庫補助事業)

人 数●3名  
期 間●令和4年9月26日(月)～10月6日(木)  
研修区分●実習80時間  
実習場所●島根県

### 5) 「主任文化財屋根葺士」 (京都市助成金)

#### 1) 第21回 検定会(檜皮・柿、茅)

人 数●2名(※内、1名は学科のみ)  
期 間●令和4年10月24日(月)～29日(土)  
研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)  
事業内容●主任文化財屋根葺士の認定・採点(檜皮・茅)  
実 技／令和4年10月24日(月)～28  
日(金) 1名  
講義・学科／令和4年10月29日(土) 2名  
採 点／令和4年10月29日(土)  
合格発表／令和4年11月14日(月)  
検 定 員●外部5名(文化財建造物技術管理者)  
内部8名(会長、副会長、常務理事、担  
当理事2名、茅部会員3名)

#### 2) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参加者●27名  
期 日●令和4年11月25日(金)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
事業内容●認定証の更新講習会

### 6) 研修会

#### 1) 指導者研修会

参加者●17名  
期 日●令和4年8月10日(水)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
講義内容●「植物性屋根の長期需要予測と、選定保  
存技術について」  
講師／文化庁文化資源活用課 修理指導  
部門 文化財調査官 結城 啓司 様

## 2) 文化財研修会

参加者●46名  
期 日●令和4年10月21日(金)  
場 所●重要文化財 法華経寺祖師堂 及び 法華経寺客殿(千葉県市川市)  
内 容●挨拶/法華経寺 貫主 新井 日湛 様  
講話/「法華経寺の歴史について」  
法華経寺 佐藤 様  
概要説明/「保存修理工事概要」  
文化財建造物保存技術協会  
田村 匠 様

会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●「文化財建造物の魅力：木を觀賞する」  
講師/京都女子大学 家政学部 生活造形学科 教授 鶴岡 典慶 様

## ④ 檜皮採取実演

参加者●約300名  
日 時●令和4年11月12日(土)  
10:00~15:00  
場 所●日吉大社(滋賀県大津市)  
人 数●5名(会長、副会長、担当理事1名、理事1名、実演者1名)

## 7 普及啓発事業

### 1) ふるさと文化財の森「森が支える日本の技術 2022 公開セミナー」

期 日●令和4年11月5日(土)、6日(日)、12日(土)、12月9日(金)  
後 援●京都府教育委員会、京都市教育委員会、林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所、公益財団法人 大学コンソーシアム京都、公益財団法人 京都古文化保存協会、公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)、清水寺(京都市東山区)、日吉大社(滋賀県大津市)、嵐山国有林(京都市右京区)  
内 容●檜皮葺技術・資材採取方法の実演、展示、研修

#### ① 檜皮葺・皮切り実演、竹釘打ち体験、パネル展示

参加者●約3000名  
日 時●令和4年11月5日(土)、6日(日)  
10:00~16:00  
人 数●12名(副会長、担当理事、企画委員4名、研修生3名、事務局1名、友好大使各日2名)  
場 所●清水寺(京都市東山区)

#### ② 現場修理写真や道具・模型の展示(パネル展示)

参加者●21名(11月5日(土))、8名(11月6日(日))  
日 時●令和4年11月5日(土)、6日(日)  
10:00~16:00  
人 数●3名(会長、常務理事、事務局1名)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

#### ③ 文化財講座

参加者●41名  
日 時●令和4年11月5日(土)  
10:30~12:00

## ⑤ 資材育成に関する研修事業

参加者●12名  
日 時●令和4年12月9日(金)  
13:30~15:00  
場 所●嵐山国有林(京都市右京区)  
人 数●3名(会長、副会長、担当理事)  
内 容●森林整備、除伐作業

## 2) 「文化庁日本の技フェア～文化財を守り続けてきた匠の技～」(文化庁主催)

参加者●約3300名  
日 時●令和4年10月22日(土)、23日(日)  
10:00~17:00  
会 場●ベルサール秋葉原(東京都千代田区)  
人 数●9名(会長、副会長、常務理事、理事1名、企画委員4名、事務局1名)

## 3) 特別講座

### ① 第1回

参加者●34名  
日 時●令和4年11月5日(土)  
14:00~16:00  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
人 数●5名(会長、担当理事、企画委員2名、事務局1名)  
内 容●「文化財管理者としての心構えについて」  
講師/国宝石上神宮 宮司 森 正光 様

### ② 第2回

参加者●27名  
日 時●令和5年1月21日(土)  
14:00~16:00  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
人 数●5名(会長、副会長、担当理事、企画委員2名)  
内 容●「Life～コミュニティデザインのちから～」  
講師/ studio-L 代表、関西学院大学 建築学部 教授 山崎 亮 様

## 8 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

### 1) 檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理

採取量●研修各地／檜皮採取量 413丸  
大内宿茅場／刈取束数 181段  
河内長野茅場／刈取束数 2800束

### 2) 檜皮採取の契約及び買受申込 (国庫補助事業)

国有林／中部森林管理局管内(賤母)  
近畿中国森林管理局管内(城山、仏通寺、西通山)

私有林／秩父市(旧大滝村栃本)

民有林／(岡山地方、羽賀寺)

#### ① 契約日●令和4年8月8日(月)

採取場所●[広島森林管理署]  
仏通寺国有林(広島県三原市)

#### ② 契約日●令和4年8月17日(水)

採取場所●[南木曾支署]  
賤母国有林(長野県木曾郡)

#### ③ 契約日●令和4年10月4日(火)

採取場所●[京都大阪森林管理事務所]  
鞍馬山国有林(京都市左京区)

#### ④ 契約日●令和4年11月17日(木)

採取場所●[兵庫森林管理署]  
西通山国有林(兵庫県姫路市)

#### ⑤ 契約日●令和4年12月19日(月)

採取場所●[山口森林管理事務所]  
城山国有林(山口県岩国市)

## 9 賃貸事業

### 京都市文化財建造物保存技術研修センター

期間●令和4年4月～令和5年3月

貸与先●「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会、認定NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ、特定非営利活動法人京都景観フォーラム、文化財修理技術保存連盟、谷上社寺工業株式会社、株式会社JTB 京都支店、京都市文

## 10 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報を発行

[古文化] 第128号／令和4年7月31日発行

第129号／令和5年1月31日発行

[手練] 第17号／令和3年度分(HP掲載のみ)

第18号／令和4年度分(HP掲載のみ)

[選定保存技術養成研修事業 事業報告書]

／令和5年3月発行

## 11 その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 1) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会

#### ① 令和4年度 総会

期 日●令和4年6月6日(月)

会 場●メール開催

議 案●(1)令和3年度事業報告及び決算の承認について

(2)令和4年度事業計画及び収支予算の承認について

#### ② 令和4年度 役員・保存団体合同会議

期 日●令和4年6月29日(水)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

議 題●(1)今後の活動について

(2)その他

### 2) 文化財修理技術保存連盟

#### ① 令和4年度 通常総会[通信総会](第1回理事会)

期 日●令和4年5月26日(木)

議 案●(1)令和3年度事業報告

(2)令和4年度事業予算

#### ② 広報委員会

期 日●令和4年4月28日(木)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

留意事項●(1)平成31年版資料集7・8頁の研修会概要の変更

(2)事務局及び会員名簿の変更

(3)「ほんものを見極める」から「ユネスコ文化遺産」に改題したもののついての変更

(4)その他、設計監理者の要望や写真等の変更

### ③第2回広報委員会

令和5年版 資料集発行準備会議

期 日●令和4年9月22日(木)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

議 案●(1)送付先について  
(2)冊数について  
(3)販売価格について  
(4)各団体の分担協力金(負担金)について  
(5)各団体当初購入数について

### ④制度委員会

期 日●令和5年1月27日(金)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

議 事●(1)令和4年4月1日に改正された「文化財保存事業関係補助金交付要綱」について  
(2)一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会の資格制度発足の報告

### ⑤第2回制度委員会

期 日●令和5年3月8日(水)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

議 事●令和5年度文化庁予算について

## 3) 全国文化財保存技術連合会

令和4年度総会

期 日●令和4年10月22日(土)

場 所●東京都千代田区

議 題●(1)令和3年度事業報告及び収支決算について  
(2)令和5年度事業計画及び収支予算(案)について

## 4) (公社) 全国国宝重要文化財所有者連盟

連絡協議会

期 日●令和5年3月3日(金)

会 場●都ホテル京都八条(京都市南区)

議 事●(1)報告会(事業活動、現況報告)  
(2)協議会(伝統技術の継承等～意見交換)

## 5) 京都女子大学 家政学部 生活造形学科

「伝統技法演習」

参加者●学生60名

期 日●令和4年11月30日(水)、12月7日(水)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

人 数●5名(担当理事1名、実演者2名、事務局2名)

内 容●伝統的屋根葺技術の説明、檜皮材拵え実演、屋根葺体験

引率者●京都女子大学 教授 鶴岡 典慶 様

## 6) 京都橘大学「産業文化論」

参加者●学生50名

期 日●令和4年11月24日(木)

会 場●京都橘大学(京都市山科区)

人 数●1名(会長)

講演内容●檜皮採取技術

## 7) ふるさと文化財の森システム推進事業

### ①第1回専門委員会

期 日●令和4年7月8日(金)

場 所●東京都

議 題●(1)令和3年度の事業報告について  
(2)ふるさと文化財の森システム推進事業 新規設定候補地について  
(3)新規資材について  
(4)その他

### ②第2回専門委員会

期 日●令和5年2月14日(火)

場 所●東京都

議 題●(1)令和4年度の事業実施状況について  
(2)ふるさと文化財の森の新規設定について  
(3)令和5年度普及啓発事業の公募について  
(4)その他

## 8) 選定保存技術情報交換事業

第4回選定保存技術情報交換会

期 日●令和4年10月21日(金)

場 所●東京都千代田区



# 収支決算書総括表

令和4年4月1日から令和5年3月31日

## 1. 収入の部

(単位;円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
入会金等収入	2,100,000	2,100,000							
会費収入	6,650,000	6,650,000							
寄付金収入	0	0							
国庫補助金収入	42,200,000					9,000,000	5,700,000	26,300,000	1,200,000
助成金	500,000				500,000				
負担金収入	4,083,778				262,601	388,128	1,832,870	1,505,592	94,587
雑収入	262,284	280	181,922	80,042	3	10	8	19	0
事業収入	11,684,070		11,361,000	323,070					
受託費収入	1,583,513		1,583,513						
繰入金収入	2,400,000	0		2,400,000					
当期収入合計	71,463,645	8,750,280	13,126,435	2,803,112	762,604	9,388,138	7,532,878	27,805,611	1,294,587
前期繰越収支差額	13,688,152	3,521,600	9,983,846	182,706	0	0	0	0	0
収入合計	85,151,797	12,271,880	23,110,281	2,985,818	762,604	9,388,138	7,532,878	27,805,611	1,294,587

## 2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
一般管理費	13,005,633	3,904,908	6,913,843	2,186,882					
管理委託費	636,864			636,864					
茅場管理事業費	100,950		100,950						
売上材料原価	4,395,400		4,395,400						
養成関連事業費	0		0						
研修会事業費	736,256		736,256						
普及活動事業費	2,069,213		2,069,213						
檜皮採取事業費	0		0						
助成金事業費	762,604				762,604				
屋根養成研修費	9,388,138					9,388,138			
茅葺技能者研修費	7,532,878						7,532,878		
採取者養成研修費	27,805,611							27,805,611	
板製作者養成研修費	1,294,587								1,294,587
負担金支費	4,083,778		4,083,778						
繰入金支出	2,400,000		2,400,000						
当期支出合計	74,211,912	3,904,908	20,699,440	2,823,746	762,604	9,388,138	7,532,878	27,805,611	1,294,587
当期収支差額	-2,748,267	4,845,372	-7,573,005	-20,634	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	10,939,885	8,366,972	2,410,841	162,072	0	0	0	0	0

# 令和5年度事業計画

## ①文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

### 1) 第24期生 養成研修 修了式

人数●3名  
期日●令和5年4月12日(水)  
会場●京都研修センター(京都市東山区)

### 2) 第25期生 養成研修 開講式

人数●3名  
期日●令和5年4月12日(水)  
会場●京都研修センター(京都市東山区)

### 3) 第25期生 前期の研修開始

人数●3名  
期間●令和5年5月8日(月)～9月22日(金)  
予定

研修区分●講義84時間、実習620時間  
講義場所●京都研修センター(京都市東山区)  
実習場所●未定

## ②檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

### 1) 中級研修生(原皮師)研修開始

人数●13名  
期間●令和5年8月21日(月)～令和6年1月19日(金)予定

研修区分●実習1328時間(内査定会16時間)  
歩道整備40時間

実習場所●国有林/[中部森林管理局管内]  
賤母(長野)  
[近畿中国森林管理局管内]  
鞍馬山(京都)、八坂・仏通寺(広島)、権現山(和歌山)、城山(山口)  
市有林/[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)、  
[河内長野市]滝畑千石谷(大阪)  
私有林/[吉備中央町]個人林(岡山)

### 2) 採取中級会議

参加者●16名  
期日●令和5年6月12日(月)  
会場●京都研修センター(京都市東山区)

### 3) 森林管理署等の挨拶・打合せ

人数●3名  
期間●令和5年5月～8月予定  
場所●中部森林管理局管内(長野)、近畿中国森林管理局管内(京都・大阪・和歌山・広島・山口)、秩父市旧大滝村栃本(埼玉)、河内長野市滝畑(大阪)、吉備中央町(岡山)

### 4) 檜山の調査

調査員●9名  
期間●令和5年5月～8月予定  
調査場所●中部森林管理局管内(長野)、近畿中国森林管理局管内(京都・大阪・和歌山・広島・山口)、秩父市旧大滝村栃本(埼玉)、河内長野市滝畑(大阪)、吉備中央町(岡山)

### 5) 研修生(原皮師)採取技術査定会

参加者●18名  
期日●令和5年10月予定  
場所●未定

### 6) 指導者及び準会員合同研修会

参加者●40名予定  
期日●令和5年8月～10月予定  
場所●南木曾町(長野)

## ③茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

### 1) 茅葺師養成研修(中級)

人数●4名予定  
期間●令和5年6月～11月予定  
研修区分●実習240時間  
実習場所●山南町研修センター・近畿及び中部地方方面

### 2) 茅刈り研修

人数●4名予定  
期日●令和6年1月予定  
研修区分●実習48時間  
実習場所●大室山(静岡県伊東市)

### 3) 茅葺協議会(茅葺きフォーラム)

参加者●40名予定  
期日●令和5年9月予定

会 場●みちのく民俗村(岩手県北上市)  
事業内容●全国の技能者を対象とした茅葺の協議会

#### 4) 茅部会

参加者●12名  
期 日●第1回 令和5年5月18日(木)  
第2回 令和5年8月予定  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●「主任文化財屋根葺士」検定会及び茅葺に関する問題点、茅研修事業等

#### 5) 茅収納庫入荷の茅調査視察

調査員●2名(執行理事、担当理事)  
期 間●令和5年6月～7月予定  
調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

### 4) 屋根板製作者養成研修事業 (国庫補助事業)

人 数●3名  
期 間●令和5年10月頃予定  
研修区分●実習96時間  
実習場所●未定

### 5) 「主任文化財屋根葺士」 (京都市助成金)

#### 1) 令和5年度 検定会(檜皮・柿、茅)

人 数●6名予定  
期 間●令和5年6月、10月予定  
研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)  
事業内容●檜皮・柿葺士または茅葺師として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺士を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

#### 2) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参加者●15名予定  
期 日●令和5年11月24日(金)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
事業内容●認定証の更新講習会

### 6) 研修会

#### 1) 指導者研修会

参加者●30名予定  
期 日●令和5年5月17日(水)  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●「建設業許可に係る注意・改正事項」  
「今後の労働環境の変化と労働法制の変化について」

#### 2) 文化財研修会

参加者●約100名  
期 日●令和5年予定  
会 場●未定  
内 容●現場見学や文化財講演会を通じ、古来より先人達が築いてきた心と技を学ぶ。

### 7) 普及啓発事業

#### 1) 特別講座

参加者●各約40名  
期 間●令和5年6月～令和6年2月  
計2回予定  
会 場●京都研修センター(京都市東山区)  
内 容●一般の方々を対象に日本の伝統文化のみならず様々な分野から講師を招き、人数制限を行ったうえ講演会を開催する。

#### 2) 日本の技 体験フェア(文化庁主催)

人 数●10名(保存会関係者)  
期 日●令和5年11月18日(土)、19日(日)  
会 場●みやこめっせ(京都市東山区)

#### 3) ふるさと文化財の森「森が支える日本の技術 2023公開セミナー」

期 間●令和5年9月～12月予定  
場 所●京都研修センター(京都市東山区)、清水寺(京都市東山区)、日吉大社(滋賀県大津市)、嵐山国有林(京都市右京区)

### 8) 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

#### 1) 檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理。  
大内宿(福島県南会津郡)  
岩湧山(大阪府河内長野市)

## 2) 檜皮採取の契約及び買受申込 (国庫補助事業)

**国有林**●[中部森林管理局管内] 賤母(長野)、[近畿中国森林管理局管内] 鞍馬山(京都)、  
八坂・仏通寺(広島)、権現山(和歌山)、  
城山(山口)

**市有林**●[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)、  
[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)

**私有林**●[吉備中央町] 個人林(岡山)

3) 文化財修理技術保存連盟  
令和5年度 通常総会  
期 日●未定

4) 全国文化財保存技術連合会 総会  
期 日●令和5年11月予定

5) 公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟  
連絡協議会  
期 日●未定

---

## 9 賃貸事業

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物その他の文化財保存と技術の継承を図るための事業を実施する法人等に施設を貸与する。

### 京都市文化財建造物保存技術研修センター

期 間●令和5年4月～令和6年3月

貸 与 先●京都市、(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会、(一財)全国伝統建具技術保存会、(一社)社寺建造物美術保存技術協会、及び各種選定保存技術保存団体等

---

## 11 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報「古文化」を年2回、「手練」を年1回編集発行。

[古文化] 第130号/令和5年7月発行予定

第131号/令和6年2月発行予定

[手 練] 第19号/令和6年2月掲載予定(HPのみ)

[選定保存技術養成研修事業 事業報告書]

／令和6年3月発行

---

## 12 その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 1) ふるさと文化財の森システム推進事業専門委員会

「ふるさと文化財の森設定について等」

期 日●未定

### 2) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会 全体会議

期 日●未定

# 収支予算書総括表

令和5年4月1日から令和6年3月31日

## 1. 収入の部

(単位;円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
入会金等収入	0	0							
会費収入	6,728,000	6,728,000							
寄付金収入	0	0							
国庫補助金収入	43,500,000					10,300,000	5,700,000	26,300,000	1,200,000
負担金収入	6,340,000				1,515,000	2,415,000	2,085,000	215,000	110,000
事業収入	12,200,000		10,500,000	1,700,000					
雑収入	151,168	1,068	150,100	0					
受託費収入	2,312,409		2,312,409						
繰入金収入	550,000	0		550,000					
助成金	500,000				500,000				
当期収入合計	72,281,577	6,729,068	12,962,509	2,250,000	2,015,000	12,715,000	7,785,000	26,515,000	1,310,000
前期繰越収支差額	10,939,885	8,366,972	2,410,841	162,072	0	0	0	0	0
収入合計	83,221,462	15,096,040	15,373,350	2,412,072	2,015,000	12,715,000	7,785,000	26,515,000	1,310,000

## 2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
一般管理費	11,281,000	4,711,000	5,050,000	1,520,000					
管理委託費	680,000			680,000					
茅場管理事業費	150,000		150,000						
売上材料原価	2,700,000		2,700,000						
養成関連事業費	300,000		300,000						
研修会事業費	1,150,000		1,150,000						
普及活動事業費	1,800,000		1,800,000						
檜皮採取事業費	0		0						
森林整備事業	0		0						
助成金事業費	2,015,000				2,015,000				
屋根養成研修費	12,715,000					12,715,000			
茅葺技能者研修費	7,785,000						7,785,000		
採取者養成研修費	26,515,000							26,515,000	
板製作者養成研修費	1,310,000								1,310,000
負担金支出	6,340,000		6,340,000						
繰入金支出	550,000		550,000						
当期支出合計	75,291,000	4,711,000	18,040,000	2,200,000	2,015,000	12,715,000	7,785,000	26,515,000	1,310,000
当期収支差額	-3,009,423	2,018,068	-5,077,491	50,000	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	7,930,462	10,385,040	-2,666,650	212,072	0	0	0	0	0

# 文化財屋根葺士養成研修 第24期生 修了式 並びに 第25期生 開講式

期日 ● 令和5年4月12日(水)

会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

文化財屋根葺士養成研修第24期生の修了式、並びに文化財屋根葺士養成研修第25期生の開講式を執り行いました。コロナ禍で中止にしておりましたが、4年ぶりに開催することができました。多数の御来賓、関係各位の御臨席のもと、研

修生たちは皆緊張した面持ちで式に臨みました。日本の文化財を継承していくという仕事の重要性や意義を十分理解しながら、今後は各会社の中で一人前の職人を目指し、精進していただきたいと思います。また、新たな研修生3名が、これから知識と技術の習得に励むことになります。気を引き締めて、日々の研鑽に努めてください。

研修に際しましてご指導をいただきました、関係各位、講師の先生方には心より御礼申し上げます。

## [文化財屋根葺士養成研修 第24期生]

- 橋本浩太郎 / (株)河村社寺工殿社
- 品川 琉心 / 田中社寺(株)
- 川瀬 皆人 / 田中社寺(株)



## [文化財屋根葺士養成研修 第25期生]

- 末岡 治人 / (株)小山社寺工業所
- 友井 康介 / (株)友井社寺
- 平尾 零 / (株)松村工務店



京都市文化財建造物保存技術研修センター内にて

## 来賓祝辞

文化庁文化資源活用課  
修理指導部門主任文化財調査官  
建造物保護調整室長 武内 正和



本日ここに、「文化財屋根葺士養成研修第24期生修了式ならびに、第25期生の開講式」にあたり、一言お祝いを申し上げます。

研修会を無事修了された皆さん、長期にわたる研修お疲れさまでした。いろいろご苦勞もあったかと思ひますが、檜皮や竹釘など材料の拵えから、模型を使った檜皮葺の実習、さらに実際の建物における実習や専門家による社寺建築の見学など、貴重な機会を得て研修に励まれ、檜皮葺技術の知識と技術を得ることができたのではないかと思います。

また新たに研修に参加される皆さんは、これからの研修期間中、体調に留意して、有意義な研修を過ごしてください。

この会場近くの清水寺では、本堂の檜皮葺屋根もだいぶ落ち着いた風合いとなり、境内や参道はかつての賑わいを取り戻しています。また昨年、奈良県の春日大社では、重要文化財である若宮の檜皮葺葺替工事が行われました。20年に一度という式年造替の周期を復活させたものです。屋根葺技術は、屋根をきれいに丁寧に葺きあげるといふ目的だけでなく、所有者の皆様にとって貴重な堂舎や社殿を守り伝えることの一助になるという点でも、とても意義が深いものです。そのような重要な技術に対する信頼を積み重ねてこられたのは皆様の先輩方であり、皆様もそれを継承する立場にあります。

文化庁は今春から京都に移転して仕事を始めています。技術伝承やふるさと文化財の森事業の充実など、保存会とも連携して進めていきたいと思ひます。

受講者の皆様におかれましては、今回の研修で得られた技術や技能をもとに、今後ともそれぞれの実務を通して自己研鑽に努めていただき、伝統的な屋根葺き技術の担い手として、大いに活躍されますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございました。

## 来賓祝辞

滋賀県文化スポーツ部  
文化財保護課  
建造物第二係長 清水 一徳



本日は文化財屋根葺士養成研修の修了式、及び開講式がこのように盛大に行われますこと、まことにめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

また、保存会の皆様はじめ、文化庁さま、関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

研修を無事修了された皆さん、お疲れさまでした。コロナ渦の影響もあるなかで長期間にわたる研修により、屋根葺師としての技術を習得され、またかけがえのない友人を得ることができたのではないかと思います。

また、新たに研修に参加される皆さんには、研修中は体調に留意され、怪我をしないという現場の基本を忘れずに、最後まで元気に研修を終えられるよう、有意義な研修を過ごしてください。これからの研修を一生の財産としていただきますようお願いいたします。

さて、滋賀県では、国指定文化財でいうと、植物性屋根が占める建造物の割合は5割を超え、例年必ずといっていいほど、植物性屋根をもつ文化財建造物の修理が発生しています。これを継続的に、かつ適切に行うためには、これら屋根材の安定的な確保とともに当該資材に関する技能者を育成することが重要な位置づけであり、保存会で長く継続されてきた各種研修の取組が、このことに大きな役割を果たすものと考えております。

我々自身もまた、保存会の取組や皆様の御経験をお教えいただき、研修を終えられた方、そして将来的には、本日新たに研修に入られる皆さんと共に文化財保護の取組を推進させていただきたいと考えておりますので、なにとぞよろしく願いいたします。

結びにあたりまして、あらためまして研修生の皆様が文化財の保存技術者として、研鑽に励んでいただき、将来の文化財の守り手として御活躍いただきますこと、並びに、本日御出席いただいております皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、簡単ではございますがお祝いと激励の言葉とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございました。

## 来賓祝辞

公益社団法人  
全国国宝重要文化財所有者連盟  
常務理事 鶴岡 典慶



文化財屋根葺士養成研修第24期修了式並びに第25期開講式の開催おめでとうございます。研修は2年間をかけて実施されており、今回が25期ということは本研修が約半世紀にわたり実施されてこられたということで、長年にわたり技能者育成に取り組んで来られました保存会の関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、私共全国国宝重要文化財所有者連盟の所有者は、文化財の継承のため日々保存管理に努めておりますが、経年による劣化や破損に対しては根本的な修理が必要となります。特に屋根の修理は一定周期で全面葺替が必要となるため、その経費負担が非常に大変であります。国庫補助金をはじめ多くの方々からの支援により何とか実施出来ているところです。したがってまして施工に携わる皆さんは、そのような公金や多くの人々の想いが込められていることを認識し、技術の錬磨に励んでいただくとともに一つ一つの仕事を丁寧に施工していただきたいと思います。

次に、皆さんはそれぞれの事業所に所属され、日常は事業所の先輩方から技術を学ぶのですが、この研修では異なる所属の方たちとともに、異なる先輩指導員のもとで様々な技術を学ぶこととなります。時には今までと違う工法があるかもしれません。しかしそれらはどちらが良くてどちらが悪いかでなく、各地域ごとの特性によるものが大いにありますから、他の技法を知るとともに皆さんの事業所の独自性も再認識して技術保存をするように心がけていただきたいと思います。文化財建造物においても、建立時代や地域、構造形式等により、様々な形状をしています。これから皆さんはいろんな地域の屋根を葺く機会があるかと思しますので、それぞれの特徴を十分理解しながら、耐久性と美しさを備えた屋根を葺いていけるよう技術の習得と向上に努めていただきたいと思います。

最後になりますが、研修を終えられた皆さんは、学ばれたことを再度思い起こし、指導いただいた方への感謝を忘れずこれからの仕事に励んでいただきたいと思います。またこれから研修を受ける皆さんは健康に留意して、無事研修を終えられますことを祈念いたします。

本日は誠におめでとうございます。

## 講師祝辞

OFFICE 萬瑠夢  
代表 村田 信夫



文化財屋根葺士研修第24期生修了式、第25期生開講式を迎えられた皆さまへ、お祝いの言葉を贈ります。

修了生の皆さまには、心からお祝いを申し上げます。私はこの研修で、文化財保護法の講義、また文化財建造物演習で、滋賀県と京都市内の国宝建造物見学の引率をしました。久しぶりに皆さんと再会し、一段と遅しくなられたと強く感じています。

今後は重要文化財建造物などの伝統的な屋根葺きに精進され、伝統技法を後世にしっかりと継承していただきます。

次いで、開講式を迎えられた皆さんは、大きな希望と同時に少しの不安もおありのことでしょう。私が修理現場で出会う若い人達にいつも伝えている2つの言葉を贈ります。

一つ目は健康に留意し、怪我をしないこと。

近頃は屋根葺きにおいても電動工具を使う機会があります。建築現場では、「怪我と弁当は自分持ち」と言う諺があります。これには色々な深い意味がありますが、自分で負った怪我は自分の責任だと、私は思っています。くれぐれも怪我のないようにしてください。

二つ目は簡単に転職しないこと。

大きな希望を抱いて、この仕事を選ばれたのですが、時には屋根葺きの仕事は自分に適していないのではないか、また人間関係が上手くないかなど、悩まれることがあるでしょう。最適なお仕事に就けている人は、ごく少数だと思います。また人間関係の難しさは、何処にいても避けては通れません。このような時に、親方や先輩の皆さん方は是非とも助言をしてあげてください。

ところで、この研修を含め、文技連(文化財修理技術保存連盟)の研修は国庫補助を受けています。即ち税金が使われているのです。さらに研修関係者の労力などを含めると、膨大な経費がかかっています。

今回入講された皆さんは、このことを十分に理解した上で、実りのある研修にしてください。



# 激励の言葉

京都市文化市民局  
文化芸術都市推進室  
文化財保護課  
課長 牧山 安弥子



本日は、文化財屋根葺士養成研修修了式並びに開講式がこのように盛大に執り行われますことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃は大野会長をはじめ、全国社寺等屋根工事技術保存会の皆様におかれましては、文化財の修理事業や伝統文化の技術継承に御尽力いただいております、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

文化財屋根葺士養成研修第24期生の、橋本 浩太郎さん、品川 琉心さん、川瀬 皆人さんにおかれましては、無事研修を修了されましたこと、誠におめでとうございます。

令和3年度には、コロナ禍により、研修が延期となり、また、令和4年度にも一時中止となるなど、この3年間大変ご苦勞様でした。今後の益々の御活躍を祈念いたします。

また、新たに文化財屋根葺士養成研修第25期生として、末岡 治人さん、友井 康介さん、平尾 零さんの3名の皆様に、研修の新入生としてお迎えできましたこと、誠に喜ばしく思います。

皆様には、体を大切に怪我なく頑張ってください、これからの研修を一生の財産としていただきますようお願いいたします。

さて、檜皮採取をはじめとした文化財を保存・継承するための技術が、「文化財の保存技術」として保護の対象になりましたのは、今から50年近くも前のことです。当時、社会や自然環境の変化などにより、技術者の減少、高齢化といった課題が顕著になったことを受け、文化財の保存そのものに大きな支障をきたすおそれが生じたことから、昭和50年、文化財保護法が改正され、文化財の保存技術が保護の対象となりました。

今日においても、文化財を保護していく上で、修理に必要な材料をいかに確保し、伝統的な建築技術をいかに後世へ伝え、その技術の後継者を育成し続けられるかが、非常に重要な課題になっています。

そのような中、令和2年には、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。数々の貴重な文化遺産を維持継承するに当たっては、これらの伝統技術は必要不可欠なものであり、今回の登録は、非常に心強い限りです。全国社寺等屋根工事技術保存会をはじめとする関係の皆

様が、長年にわたり、技術継承について数々の成果を挙げてこられた、その御尽力の賜物と存じます。今後、この、伝統を受け継ぎながら発展してきた技術が、文化財の保存に携わる人だけでなく、一般の人々にも知られ、関心や理解が深まることにより、その継承につながっていくことを期待しております。

今年は、いよいよ文化庁が京都に本格移転してされました。本市におきましても、新たな体制の文化庁と連携しながら、本市自らの役割・責任をしっかりと果たしつつ、文化財の保存に欠くことのできない伝統的な技術への支援にも、力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、なにとぞよろしく願いいたします。

結びにあたりまして、研修を修了された皆様、あるいはこれから受講される皆様が、文化財の保存技術者として研鑽に励んでいただき、将来の文化財の守り手として御活躍いただきますこと、並びに、本日御出席いただきありがとうございます御健勝と御多幸を祈念いたしまして、簡単ではございますが激励の言葉とさせていただきます。

## 修了生謝辞



文化財屋根葺土養成研修  
第24期生 橋本 浩太郎

私たちの研修は、新型コロナウイルスの影響により研修時期の延期や、現場研修に出られないなど、予期せぬことの連続でした。そんな中で私たちが研修をできるようになったのは、多くの方々のお力添えがあったからだと思います。

この研修では、屋根材の加工を主に経験しました。柿の板割りでは、自分の会社とはまた違ったやり方

を体験させてもらいました。元々経験したことがなかった檜皮の皮切りでは、この研修で指導員の方から様々なやり方や技術を教えていただき、貴重な経験ができたと思います。

最後になりましたが、指導してくださった講師の先生方、ありがとうございました。



全国社寺等屋根工事技術保存会 大野会長からのご挨拶

# 令和5年度 指導者研修会

日時 ● 令和5年5月17日(水) 13:30～16:30  
会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター  
講師 ● 森下行政書士・社会保険労務士事務所  
森下 政吾 様  
ありき社会保険労務士事務所  
有木 慎治 様

本年も全国社寺等屋根工事技術保存会 正会員を対象とした指導者研修会を行ないました。講義内容を選定するにあたり、担当者としてはより会員の皆様の日常業務にプラスになる内容の講義ができないかと考え、本年の講師には行政書士、社会保険労務士の有資格者2名の方をお招きして講義を行なっていただきました。

## 「建設業法施行令」一部改正を踏まえて

前半の講義では、森下行政書士・社会保険労務士事務所 森下 政吾様より建設業許可に係る注意点、改正事項についてのレクチャーをいただきました。

建設業の我々に非常に踏み込んだ内容で、建設業許可に係る注意点や解体業許可に関する注意点など見落としがちな事項が多く、参考になるところが多くありました。特に印象に残っているのは、特定建設業許可が必要であ

る下請負金額上限の変更で、普段から許可が身近な我々であっても令和5年1月に改正されたばかりの内容については知らないが多かったように思います。現場専任が求められる金額の変更についても、認識できていない人がほとんどであったように見受けられました。

屋根工事業の場合、特定建設業を取得していない業者については下請負金額合計が4500万という枠が課せられていますが、仮に我々屋根工事業者が建築一式の許可を取得さえすれば7000万円に緩和される可能性があるという説明については、非常に重要であるように思われました。監理技術者が足りていない現状で、各種の現場を回している我々建設業者にとっては示唆に満ちたご指摘かと考えます。

## 「働き方改革」こそが現状打破の鍵

後半の講義では、ありき社会保険労務士事務所 有木 慎治様より今後の労働環境の変化と労働法制の変化についてご講義をいただきました。

長時間労働の是正や注意しておくべきポイント、防衛策としてどのような手順を踏んでおくべきなのか、押さえておくべきことがたくさんあったように思われます。年次有給休暇の年5日以上の消化義務付けなど、コンプライアンス上行っておくべき事項などは今一度確認が必



正会員による指導者研修会風景



森下行政書士・社会保険労務士事務所 森下 政吾様による講義



ありき社会保険労務士事務所 有木 慎治様による講義

要と感じました。その中で特に印象に残っている内容は、男性の育児休業についてです。

### 「育休取得」に強い問題意識を持って

育児休業については昨今話題となっていますが、社会保険労務士の意見としては、「従業員から申し出があった場合、それに対して拒否をするという選択肢は絶対に取らないように」という助言を受けました。今までの会社ではなかったような労働環境の変革が訪れており、若年労働者の不足が言われている建設業関連団体にとっても無視できない状況にあると思われます。

会員の中には、「職人から男性育児休業の申し出があった」という発言もありました。今後、法律、社会からの要望、従業員やその家族からの会社に対する要求も変わっていくことが予想されます。完全週休二日制の導入

など、目の前にある問題点は多く、一業者だけで解決していける問題だけではないように思われますが、我々もこのような講義を受けて意識をブラッシュアップしていかなければならないと、尚一層考えさせられる講義であったと思います。

### 未来志向の有効な手法となるように

現在のところ、我々が日頃携わっている文化財工事全般に渡って、この手の特定建設業や免許許可の要件、労働法制の変化などに対応しきれているようには思われない状況が続いておりますが、厳格化された場合、入札手続きなどに影響を及ぼさないと言い切れず、保存会員としては先手を打って準備を進めていく必要がある内容に思われました。そのため今回の2つの講義の内容は特に有意義なものであったと思われます。

## 令和4年度 国有林野事業 業務研究発表会

### 職員が選ぶ、森林ふれあい・地域連携部門「優秀賞」を受賞!

期日 ■ 令和4年11月24日(木)

会場 ■ 南木曾森林管理署

林野庁主催の「令和4年度 国有林野事業業務研究発表会」が開催され、「森林ふれあい・地域連携部門」にて、木曾森林管理署 南木曾支署 森林整備課 齋藤由晃様とともにオンラインにて合同発表をさせていただきました。

この発表会は、現場業務を通じて得られた取り組みの成果を広く普及するとともに、組織全体で共有し、今後の取り組みにつなげて



いくことを目的に開催されています。その中で、職員投票において多くの職員様より高い評価をいただき、「職員が選ぶ「令和4年度 業務研究大賞」、森林ふれあい・地域連携部門「優秀賞」を頂きました。

今後も檜皮採取者養成研修事業、歩道・森林の整備、採取見学会などの普及啓発を行っていくとともに、日本固有の技術、檜皮葺きに必要不可欠な檜皮の資材確保、そして再生可能な資源を生産するモデルフィールドとしての有効な国有林活動に取り組んでまいります。



# 文化財屋根葺土養成研修 第25期生 前期研修 開始

令和5年度 国庫補助事業 文化財屋根葺土養成研修第25期生の開講式を4月12日に京都市文化財建造物保存技術研修センターで行い、前期の研修を5月8日から開始致しました。

今回は3名の研修生が研修を受けております。

研修内容は、実技として材料整形、模型を使用した屋根葺と現場実習、座学として日本建築史、積算・仕様・工程管理、建築史演習、文化財保護法、日本建築の構造

と仕様、採取研修、労働安全衛生法、専門工法など、たくさんの科目があります。すぐには理解できないと思いますが、辛抱強く取り組むことで今後の仕事に活かしてほしいと思います。研修生の皆さん、有意義な研修になるように頑張ってください。

関係者各位には今後とも一層のご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。

## 実 技



あて作り



材料整形

# 座学/実習



座学 / 建築史演習



現地実習 / 建築史演習 / 大徳寺



模型屋根葺き実習



現場研修

# 会 員 名 簿

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の会員名簿をご紹介します。届け出内容等に変更がございましたら、事務局 Tel 075-541-7727 か Fax 075-532-4064 までお知らせください。

## ■法人・個人登録(檜皮葺・柿葺、茅葺、檜皮採取、屋根板製作部門)

No.	正会員名	担当者名	〒	住 所	TEL FAX	HP アドレス メールアドレス
1	明石屋根工事(有)	長崎 貴宣	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯 126-2	086-482-0056 086-483-1212	<a href="https://akashiyane.com">https://akashiyane.com</a>
2	(有)池田社寺	池田 民哉	815-0037	福岡市南区玉川町17-19	092-541-7593 092-512-8288	
3	(有)石塚商店	石塚 直幸	669-3154	兵庫県丹波市山南町梶 525-1	0795-76-1064 0795-76-2119	
4	岩崎社寺工業(株)	岩崎 剛	526-0814	滋賀県長浜市石田町 493-2	0749-62-4743 0749-62-5628	<a href="https://yanecho.com/about">https://yanecho.com/about</a>
5	(株)上野建設	上野 千代榮	037-0316	青森県北津軽郡中泊町 芦野字堤の袖148-75	0173-57-3825 0173-57-3227	
6	(有)大城戸社寺工業	大城戸 昇	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町 黒田432	0795-28-4631 0795-28-4682	
7	(有)大西茅葺	大西 謙之	578-0924	大阪府東大阪市吉田 1丁目12-20	072-961-6015 072-961-6015	<a href="mailto:kayabuki2014@sage.ocn.ne.jp">kayabuki2014@sage.ocn.ne.jp</a>
8	(株)大野檜皮工業	大野 浩二	669-3101	兵庫県丹波市山南町上滝 855	0795-78-0352 0795-71-4129	
9	(株)小山社寺工業所	小山 真人	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847 092-641-2278	<a href="mailto:oyamashaji@orion.ocn.ne.jp">oyamashaji@orion.ocn.ne.jp</a>
10	狩野興建(株)		812-0054	福岡市東区馬出5-26-11	092-651-2345 092-651-3060	
11	亀井 輝彦	亀井 輝彦	677-0013	兵庫県西脇市日野町 302-1	0795-23-5332 0795-23-5332	<a href="https://www.kamei-shaji.com">https://www.kamei-shaji.com</a> <a href="mailto:t.kamei.728@gmail.com">t.kamei.728@gmail.com</a>
12	(株)茅葺屋根保存協会	水野 暁彦	329-0516	栃木県下野市大光寺 1丁目5番11号	0285-51-0786 0285-52-1586	<a href="https://www.kayabuki.co.jp">https://www.kayabuki.co.jp</a> <a href="mailto:kemuler@kayabuki.co.jp">kemuler@kayabuki.co.jp</a>
13	(株)河村社寺工殿社	河村 雅史	520-0113	滋賀県大津市坂本 2-8-33	077-578-0229 077-578-0169	
14	岸田工業(株)	岸田 信行	607-8464	京都市山科区上山花 久保町74-1	075-593-2325 075-581-9498	<a href="https://kishida-kogyo.com">https://kishida-kogyo.com</a> <a href="mailto:kishida@waltz.ocn.ne.jp">kishida@waltz.ocn.ne.jp</a>
15	(有)吉川社寺	吉川 昌治	699-1822	島根県仁多郡奥出雲町 下横田457-1	0854-52-2026 0854-52-2168	
16	木下 岩男	木下 岩男	526-0814	滋賀県長浜市石田町588	0749-62-7160 0749-62-7186	
17	楠本 浩史	楠本 浩史	648-0211	和歌山県伊都郡高野町 高野山73-4	0736-56-2154 0736-56-2158	<a href="mailto:hiwadabukifuruya@iaa.itkeeper.ne.jp">hiwadabukifuruya@iaa.itkeeper.ne.jp</a>
18	(有)熊谷産業	熊谷 秋雄	986-0202	宮城県石巻市北上町 橋浦字行人前190	0225-67-2045 0225-67-2032	<a href="mailto:postmaster@kayabukiyane.com">postmaster@kayabukiyane.com</a>
19	栗山木工(有)	栗山 由己	399-5504	長野県木曾郡大桑村野尻 2271-6	0264-55-2134 0264-55-4034	<a href="mailto:info@kokeraya.com">info@kokeraya.com</a>
20	(株)越乃かやぶき	大石 保男	946-0216	新潟県魚沼市須原 1000番1	025-797-3387 025-797-4032	<a href="http://www.koshino-kayabuki.com">http://www.koshino-kayabuki.com</a> <a href="mailto:kayabuki@waltz.ocn.ne.jp">kayabuki@waltz.ocn.ne.jp</a>

No.	正会員名	担当者名	〒	住 所	TEL	HP アドレス
					FAX	メールアドレス
21	(株) 児島工務店	児島 真介	700-0827	岡山市北区平和町 4-7	086-232-2223	<a href="https://www.kojima1720.com">https://www.kojima1720.com</a>
					086-223-9424	kojima2223@nifty.com
22	小 西 繁 俊	小西 繁俊	639-3115	奈良県吉野郡吉野町 吉野山526-2	0746-32-8510	konishikougei@kcn.jp
					0746-32-8510	
23	阪 上 卓	阪上 卓	648-0037	和歌山県橋本市賢堂 182	0736-32-0791	
					0736-32-0791	
24	(有)社寺工芸大紀堂	大城戸 一秀	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町 黒田 268-2	0795-28-3005	
					0795-28-4784	
25	杉 本 惣 一	杉本 惣一	616-8041	京都市右京区花園 寺ノ前町 26	075-464-5970	
					075-464-5970	
26	隅 田 隆 蔵	隅田 隆蔵	633-2136	奈良県宇陀市大宇陀区 大熊 579	0745-83-2870	
					0745-83-2870	
27	田 中 社 寺 (株)	田中 敬二	500-8483	岐阜市加納東丸町 2-20	058-272-2871	<a href="https://www.tanakashaji.co.jp">https://www.tanakashaji.co.jp</a>
					058-276-1329	info@tanakashaji.co.jp
28	谷上社寺工業(株)	川田 徳宏	633-0053	奈良県桜井市谷旭町 904-2	0744-42-2790	<a href="https://www.tanigamisyaji.co.jp">https://www.tanigamisyaji.co.jp</a>
					0744-42-5389	tanigamik@helen.ocn.ne.jp
29	伝匠舎(株)石川工務所	石川 重人	404-0042	山梨県甲州市塩山上於曾 1990	0553-32-2170	ishikawa@densho-sha.co.jp
					0553-32-2171	
30	(株) 友 井 社 寺	友井 辰哉	669-3111	兵庫県丹波市山南町阿草 1302	0795-78-0810	<a href="https://www.tomoi-shaji.com">https://www.tomoi-shaji.com</a>
					0795-78-0002	tomoishaji@gmail.com
31	長 谷 部 直 之	長谷部 直之	602-0036	京都市上京区室町通今出 川上ル西入蒔島屋町 143	075-451-3563	
					075-415-1388	
32	(有) ひ わ だ や	佐々木 真	753-0036	山口市円政寺町 5-4	083-922-1651	<a href="http://www.hiwadaya.com">http://www.hiwadaya.com</a>
					083-922-1800	hiwadaya@estate.ocn.ne.jp
33	(株) 松 村 工 務 店	松村 正徳	529-1537	滋賀県東近江市市子殿町 1369 番地	0748-55-8008	kkmatumura@ex.bw.dream.jp
					0748-55-8018	
34	(有) 宮 川 屋 根 工 業	塩田 隆司	604-0985	京都市中京区麩屋町通 竹屋町上ル舟屋町 415	075-231-3396	miya-ne@taupe.plala.or.jp
					075-212-2040	
35	(株) 村 上 社 寺 工 芸 社	村上 英明	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場 443-1	0795-78-0158	<a href="https://murakamisyaji.com">https://murakamisyaji.com</a>
					0795-78-0708	murakamisyaji.cic@beach.ocn.ne.jp
36	山 香 正	山香 正	872-0103	大分県宇佐市北宇佐 1551	0978-37-3393	
					0978-37-3393	

(2023.4.1 現在)

## ■名誉会員

No.	名誉会員名	〒	住 所	TEL	FAX
1	岩 崎 長 蔵	526-0814	滋賀県長浜市石田町 493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
2	小 山 儀 一 郎	812-0054	福岡市東区馬出 5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
3	河 村 直 良	520-0113	滋賀県大津市坂本 2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
4	岸 田 重 信	607-8464	京都市山科区上花山久保町 74-1	075-593-2325	075-581-9498
5	熊 谷 貞 好	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦字行人前 190	0225-67-2045	0225-67-2032
6	児 島 研 輔	700-0827	岡山市北区平和町 4-7	086-232-2223	086-223-9424
7	長 崎 眞 知 夫	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯 126-2	086-482-0056	086-483-1212
8	松 村 正 義	529-1537	滋賀県東近江市市子殿町 1369 番地	0748-55-8008	0748-55-8018

(2023.4.1 現在)



## ■賛助会員

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
1	社 寺	関 伽 井 坊	744-0024	山口県下松市末武上398	0833-44-8409
2		天 野 山 金 剛 寺	586-0086	大阪府河内長野市天野町996	0721-52-2046
3		伊 賀 八 幡 宮	444-0075	愛知県岡崎市伊賀町東郷中86	0564-26-2789
4		石 山 寺	520-0861	滋賀県大津市石山寺1-1-1	077-537-0013
5		石 上 神 宮	632-0014	奈良県天理市布留町384	0743-62-0900
6		巖 島 神 社	739-0588	広島県廿日市市宮島町1-1	0829-44-2020
7		出 雲 大 社	699-0701	島根県出雲市大社町杵築東195	0853-53-3100
8		石 清 水 八 幡 宮	614-8588	京都府八幡市八幡高坊30	075-981-3001
9		宇 佐 神 宮	872-0102	大分県宇佐市南宇佐2859	0978-37-0001
10		永 保 寺	507-0014	岐阜県多治見市虎溪山町1-40	0572-22-0351
11		比 叡 山 延 暦 寺	520-0116	滋賀県大津市坂本本町4220	077-578-0551
12		大 崎 八 幡 宮	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡4-6-1	022-234-3606
13		大 神 神 社	633-8538	奈良県桜井市三輪1422	0744-42-6633
14		大 山 祇 神 社	794-1393	愛媛県今治市大三島町宮浦3327	0897-82-0032
15		意 賀 美 神 社	598-0024	大阪府泉佐野市上之郷45	072-468-0540
16		尾 張 大 國 霊 神 社	492-8137	愛知県稲沢市国府宮1-1-1	0587-23-2121
17		園 城 寺	520-0036	滋賀県大津市園城寺町246	077-522-2238
18		柏 原 八 幡 宮	669-3309	兵庫県丹波市柏原町柏原八幡山1-1	0795-72-0156
19		鹿 島 神 宮	314-0031	茨城県鹿嶋市宮中2306-1	0299-82-1209
20		春 日 大 社	630-8212	奈良市春日野町160	0742-22-7788
21		香 取 神 宮	287-0017	千葉県香取市香取1697	0478-57-3211
22		賀 茂 御 祖 神 社	606-0807	京都市左京区下鴨泉川町59番地	075-781-0010
23		賀 茂 別 雷 神 社	603-8047	京都市北区上賀茂本山339	075-781-0011
24		吉 備 津 神 社	701-1341	岡山市北区吉備津931	086-287-4111
25		吉 備 津 彦 神 社	701-1211	岡山市北区一宮1043番地	086-284-0031
26		清 水 寺 ( 京 都 )	605-0862	京都市東山区清水1-294	075-551-1234
27		清 水 寺 ( 安 来 )	692-0033	島根県安来市清水町528	0854-22-2151
28		金 峯 山 寺	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山2498	0746-32-8371
29		杭 全 神 社	547-0046	大阪市平野区平野宮町2-1-67	06-6791-0208
30		熊 野 本 宮 大 社	647-1731	和歌山県田辺市本宮町本宮1110	0735-42-0009
31		氣 多 大 社	925-0003	石川県羽咋市寺家町ク1-1	0767-22-0602
32		國 前 寺	732-0048	広島市東区山根町32番1号	082-261-4578

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
33	社 寺	国分寺(備中)	719-1123	岡山県総社市上林1046	0866-92-0037
34		金剛輪寺	529-1202	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873	0749-37-3211
35		護国八幡宮	932-0836	富山県小矢部市埴生2992	0766-67-1220
36		西明寺	522-0254	滋賀県犬上郡甲良町池寺26	0749-38-4008
37		志波彦神社 鹽竈神社	985-8510	宮城県塩竈市一森山1-1	022-367-1611
38		真珠庵	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町52	075-492-4991
39		慈眼院	598-0021	大阪府泉佐野市日根野626	072-467-0092
40		十三神社	640-1235	和歌山県海草郡紀美野町野中493	073-495-3755
41		浄土寺	722-0043	広島県尾道市東久保町20-28	0848-37-2361
42		住吉神社	751-0805	山口県下関市一の宮住吉1-11-1	0832-56-2656
43		住吉大社	558-0045	大阪市住吉区住吉2-9-89	06-6672-0753
44		瑞龍寺	933-0863	富山県高岡市関本町35	0766-22-0179
45		善光寺	380-0851	長野市元善町491	026-234-3591
46		談山神社	633-0032	奈良県桜井市多武峰319	0744-49-0001
47		醍醐寺	601-1325	京都市伏見区醍醐東大路町22	075-571-0002
48		大徳寺	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町53	075-491-0019
49		太宰府天満宮	818-0195	福岡県太宰府市宰府4-7-1	092-922-8225
50		竹林寺	739-2208	広島県東広島市河内町入野3103	082-437-1171
51		智満寺	427-0001	静岡県島田市千葉254	0547-35-6819
52		長福寺	701-2602	岡山県美作市真神414	0868-74-2026
53	津島神社	496-0851	愛知県津島市神明町1	0567-26-3216	
54	出羽三山神社	997-0292	山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7	0235-62-2355	
55	東福寺	605-0981	京都市東山区本町15丁目778	075-561-0087	
56	那谷寺	923-0336	石川県小松市那谷町ㄥ122	0761-65-2111	
57	那智山青岸渡寺	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8	0735-55-0001	
58	南宮大社	503-2124	岐阜県不破郡垂井町宮代1734-1	0584-22-1225	
59	野上八幡宮	640-1141	和歌山県海草郡紀美野町小畑625	073-489-2162	
60	日御碕神社	699-0763	島根県出雲市大社町日御碕455	0853-54-5261	
61	日吉大社	520-0113	滋賀県大津市坂本5-1-1	077-578-0009	
62	廣八幡宮	643-0064	和歌山県有田郡広川町上中野206	0737-62-2371	
63	富士山本宮浅間大社	418-0067	静岡県富士宮市宮町1-1	0544-27-2002	
64	法隆寺	636-0115	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1	0745-75-2555	
65	法華経寺	272-0813	千葉県市川市中山2-10-1	047-334-3433	

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
66	社 寺	本 山 寺	708-1536	岡山県久米郡美咲町定宗403	0868-62-1050
67		御 上 神 社	520-2323	滋賀県野洲市三上838	077-587-0383
68		御 調 八 幡 宮	722-1513	広島県三原市八幡町宮内13	0848-65-8652
69		三 船 神 社	649-6123	和歌山県紀の川市桃山町神田101	0736-66-1620
70		美 保 神 社	690-1501	島根県松江市美保関町美保関608	0852-73-0506
71		妙 成 寺	925-0002	石川県羽咋市滝谷町ヨ-1	0767-27-1226
72		宗 像 大 社	811-3505	福岡県宗像市田島2331	0940-62-1311
73		八 坂 神 社	563-0043	大阪府池田市神田4-7-1	072-751-3790
74		龍 源 院	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町82-1	075-491-7635
75		瑠 璃 光 寺	753-0081	山口市香山町7-1	083-922-2409
76	六 所 神 社	444-0864	愛知県岡崎市明大寺町字耳取44	0564-51-2930	
1	そ の 他	神 宮 司 庁 営 繕 部	516-0023	三重県伊勢市宇治館町1	0596-24-1111
2		高 林 家 住 宅	591-8037	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5-647	072-255-6998

(2023.4.1 現在)

## ■ 准会員

No.	氏名	職種
1	青木 照幸	檜皮葺
2	青山 亨	檜皮葺・柿葺
3	朝野 達也	檜皮葺・柿葺
4	芦田 健太	檜皮葺・柿葺
5	蘆田 祐明	檜皮葺・柿葺
6	足立 健一	檜皮葺・柿葺
7	足立 大茂	檜皮葺・柿葺
8	安部 悟司	柿葺 屋根板製作
9	飯野 映稚	檜皮葺・柿葺
10	石井 潤	檜皮葺・柿葺
11	石川 良三	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
12	石塚 健一	竹釘製作
13	市原 健	檜皮葺・柿葺
14	一色 律男	檜皮葺・柿葺
15	伊藤 貴弘	檜皮葺・柿葺
16	伊藤 延行	檜皮葺・柿葺
17	伊藤 元輝	檜皮採取
18	井上 裕貴	檜皮採取
19	居原田 浩樹	檜皮葺・柿葺
20	入江 匠	檜皮葺・柿葺
21	岩崎 正	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
22	大石 薫利	檜皮葺・柿葺
23	大西 康純	茅葺
24	大野 隼矢	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
25	緒方 伸也	檜皮葺
26	岡野 史和	檜皮葺・柿葺
27	岡本 葉澄	檜皮葺・柿葺
28	奥田 治郎	檜皮葺・柿葺
29	奥田 正博	檜皮葺・柿葺
30	尾崎 良助	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
31	加々美 栄	茅葺
32	方山 和也	檜皮葺・柿葺
33	勝部 哲也	檜皮葺・柿葺
34	金沢 翔太	茅葺
35	包國 眞匠	檜皮葺・柿葺
36	金子 英生	檜皮葺・柿葺
37	嘉本 洋士	檜皮葺・柿葺
38	川瀬 皆人	檜皮葺・柿葺
39	河野 修二郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
40	菊池 保	茅葺
41	岸田 智太郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
42	岸田 直彦	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
43	吉川 圭一	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
44	吉川 晋二	柿葺 屋根板製作
45	木戸 智裕	屋根板製作
46	木下 和也	檜皮葺・柿葺
47	木下 真介	檜皮葺・柿葺
48	木村 健太	檜皮葺・柿葺
49	清田 幸臣	檜皮葺・柿葺
50	栗山 弘忠	屋根板製作

No.	氏名	職種
51	小池 一平	檜皮葺・柿葺
52	古田島 進	管理
53	後藤 哲夫	檜皮採取
54	小西 康介	檜皮葺・柿葺
55	小西 繁信	檜皮葺・柿葺
56	小林 洋介	茅葺
57	小原 一樹	檜皮葺・柿葺
58	近藤 竜太	檜皮採取
59	寒河江 清人	檜皮葺・柿葺
60	佐々木 綾子	檜皮葺
61	佐々木 孝則	茅葺
62	佐藤 偉仁	茅葺
63	猿橋 成博	茅葺
64	澤田 昌己	檜皮葺・柿葺
65	品川 琉心	檜皮葺・柿葺
66	島田 伊織	茅葺
67	末岡 治人	檜皮葺・柿葺
68	須賀 均	檜皮葺 檜皮採取
69	須賀 将志	檜皮葺・柿葺
70	杉谷 功	檜皮葺・柿葺
71	鈴木 礼央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
72	高木 諒	屋根板製作
73	高平 勝也	檜皮葺・柿葺
74	竹森 暢哉	檜皮葺・柿葺
75	武山 貞秋	茅葺
76	立木 覚士	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
77	田中 智紗衣	管理
78	田中 智也	管理
79	寺田 美乃里	檜皮葺・柿葺
80	富樫 忠義	茅葺
81	戸梶 憲幸	檜皮葺・柿葺
82	友井 康介	檜皮葺・柿葺
83	中島 信	茅葺
84	永瀬 慶祐	檜皮葺・柿葺
85	中西 純一	茅葺
86	中西 祥也	檜皮葺・柿葺
87	永原 光敬	檜皮葺・柿葺
88	中村 裕司	檜皮葺・柿葺
89	新津 侑樹	茅葺
90	西 裕之	檜皮葺・柿葺
91	西堀 大樹	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
92	西村 聡央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
93	西村 信生	檜皮葺・柿葺
94	野谷 嘉邦	檜皮葺・柿葺
95	BAATARSUREN BAT ERDENE	茅葺
96	橋本 浩太郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
97	橋本 理穂	檜皮葺
98	東 友一	檜皮葺・柿葺
99	樋口 隆	茅葺
100	檜 篤広	檜皮葺・柿葺

[五十音順]

No.	氏 名	職 種
101	平 尾 零	檜皮葺・柿葺
102	平 田 将 大	檜皮葺・柿葺
103	平野 健太郎	檜皮葺・柿葺
104	平野 裕 也	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
105	廣 内 翔	檜皮葺・柿葺
106	深 本 英 昭	檜皮葺・柿葺
107	福 岡 亮 太	檜皮採取
108	福 留 巧 稀	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
109	藤 中 竜 也	檜皮葺・柿葺
110	藤 原 諒	檜皮葺・柿葺
111	藤 原 優	茅 葺
112	瀨 上 大 輔	檜皮葺・柿葺
113	古 川 友 喜	檜皮葺・柿葺
114	細 見 知 憲	檜皮葺・柿葺
115	細 見 裕	檜皮葺・柿葺
116	堀 内 博 樹	檜皮葺・柿葺
117	本 多 亮 貴	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
118	毎 熊 徳 満	檜皮葺
119	槇 原 孝 宜	檜皮葺・柿葺
120	松 田 哲 也	檜皮葺・柿葺 茅葺
121	松 村 省 弥	檜皮葺・柿葺
122	松 村 純 孝	檜皮葺・柿葺
123	松 村 有 記	檜皮葺・柿葺
124	三 上 昭 信	茅 葺
125	道 繁 康	檜皮葺・柿葺
126	三ツ出 俊平	檜皮葺・柿葺
127	緑 川 幹 雄	檜皮葺・柿葺
128	峰 地 幹 太	檜皮葺・柿葺
129	宮 川 義 史	檜皮葺・柿葺
130	宮 西 寛	檜皮葺
131	向 田 学	檜皮葺・柿葺
132	村 岡 伸 康	檜皮葺 檜皮採取
133	村 上 章 浩	檜皮葺・柿葺
134	村 上 貢 章	檜皮葺・柿葺
135	森 山 淳 希	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
136	八ッ橋 崇市郎	茅 葺
137	矢 野 友 則	檜皮葺・柿葺
138	山 口 成 貴	檜皮葺・柿葺 茅葺
139	山 口 宗 平	檜皮葺・柿葺
140	山 崎 堅 登	檜皮葺・柿葺
141	湯野 尚一郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
142	吉 竹 秀 紀	檜皮採取
143	余 宮 祥 平	茅 葺
144	和 田 琢 男	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
145	渡 部 雄 太	檜皮葺・柿葺

(2023.4.1現在)



## ご寄贈の御礼

この度、文化財屋根葺士養成研修講師のOFFICE 萬瑠夢代表 村田信夫様より、『野洲市指定兵主神社本殿修理工事報告書』をご寄贈いただきました。

今後の保存会研修等での講義資料として大切に活用させていただきます。

村田信夫様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 発行所

京都市東山区清水二丁目 205-5  
文化財建造物保存技術研修センター内



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064  
<http://www.shajiyane-japan.org>

### 古文化 第130号

令和5年7月31日発行

## あとがき

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、少しずつではありますが、コロナ禍前の生活ができるようになってきました。入国制限も解除され、訪日外国人客も2023年は年間2000万人超のペースで回復しています。最近ではメジャーな観光地以外でも外国人観光客の姿をよく見かけられるようになりました。コロナ禍で中止になっていたイベントや祭りなども再開され、賑わう様子を目にする嬉しく思います。

当保存会も4月から屋根葺師養成研修がスタートしており、3名の研修生が研修に励んでおります。ご協力いただきます皆様に心より感謝申し上げます。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ ふ る さ と 探 訪 ■

おやま まさと  
小山 真人さんのふるさと

「博多三大祭りを彩る 宮崎宮放生会」

(福岡県福岡市)

私のふるさと「福岡市」は、現在人口163万人の市で、若者たちが住みたいランキングで、全国3位の街です。国内・国際線が数多く就航する福岡空港から地下鉄で博多駅まで5分、天神まで11分と、市内アクセスの良さは抜群です。美しい山と海に囲まれ、住みやすい都市として世界的にも注目されている福岡市の魅力についてご紹介します。

私の住む福岡市東区には、近所に宮崎宮があり、日本三大八幡宮の一つでもあります。本殿、拝殿、楼門、鳥居は国の重要文化財に指定されています。その建物のひとつである楼門に、通常なら扁額にはお宮の名前が掲げられるのですが、宮崎宮の楼門には「敵国降伏」と書かれた扁額が掲揚されています。この意味は鎌倉期に亀山上皇が納められた御宸筆(天皇の自筆)を、楼門建立の際、小早川隆景公が模写拡大し掲げたものです。その真意は、武力で相手を降伏させる(霸道)ではなく、徳の力をもって導き、相手が自から靡き降伏するという、王道である我が国のあり方(真の勝利)を説いています。今現在掲げられているのはレプリカで、本物は社務所で大切に保管されています。

福岡市の祭りで、「春の博多どんたく」「夏の博多祇園山笠」と並び博多三大祭りに数えられる「宮崎宮放生会」は、「万物の生命をいつくしみ、殺生を戒め、秋の実りに感謝する」お祭りです。その起源は「合戦の間多く殺生すよろしく放生会を修すべし」という御神託によるもので、千年以上続く最も重要な神事です。期間中(9月中旬)には、おはじき\*、チャンポンなどの販売があります。おはじきは博多人形師の研究団体である「白彫会」の方が一つずつ手作りしているため数量が限られています。チャンポンとは、「ビードロともいわれるガラスで出来た玩具」のことです。お土産に如何でしょうか。

また、1年おきに福岡市無形民俗文化財指定の御神幸(御神興行列)が行われ、私も氏子の一人として龍笛を吹き、町中を5kmほど歩きます。7日間の期間中は参道一帯に500の露店が並び、100万人の参拝客で賑わいます。皆様も一度是非お立ち寄りください。

※ かつては「放生会」期間中の限定販売だった「おはじき」ですが、人気  
が過熱して支障が起きたため、現在は通年販売に切り替えられています。  
販売状況については、宮崎宮のHPでご確認ください。



(イラスト/米林 真)

# 古文化

第 130 号



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会